



2023年3月27日

報道関係者各位

慶應義塾大学

総合政策学部はシリーズ「総合政策学をひらく」（全5巻）を出版

慶應義塾大学総合政策学部は、湘南藤沢キャンパス（以下「SFC」）創設30年を記念して、シリーズ「総合政策学をひらく」（全5巻）を出版しました。

「総合政策学の現在を問う——。」私たちが向き合う社会の問題は、特定の学問領域に立ち現れるわけではありません。総合政策学は、個々の先端的な学問領域に通暁しつつも、それを総合的にとらえなおして問題解決するために学際領域に踏み込もうとする新たな学問領域として誕生しました。SFC開設以来、30年余にわたり切り拓いてきた総合政策学の革新と創造の姿を、あらためて本書シリーズを通して紹介します。総合政策学部の教員10名が編者となり、延べ68名が執筆しました。

1 各巻紹介 ※全5巻の詳細は別紙のとおり（順不同）

- 『流動する世界秩序とグローバルガバナンス』／神保謙・廣瀬陽子 編
- 『言語文化とコミュニケーション』／宮代康丈・山本薫 編
- 『社会イノベーションの方法と実践』／琴坂将広・宮垣元 編
- 『公共政策と変わる法制度』／新保史生・和田龍磨 編
- 『総合政策学の方法論的展開』／桑原武夫・清水唯一朗 編

2 刊行記念 Web サイト

刊行を記念した Web サイト「総合政策学をひらく SFC 創設 30 年記念」を公開しています。ぜひご覧ください。

<https://www.sfc.keio.ac.jp/enh-pm/>



3 出版情報

慶應義塾大学出版会 シリーズ「総合政策学をひらく」2023年2月～3月

https://www.keio-up.co.jp/np/search_result.do?ser_id=90

※順次、電子書籍版もリリース予定です。

※ご取材の際には、事前に以下連絡先までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、科学記者会、各社社会部、文化部等に送信させていただいております。

【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾広報室 唐（トウ）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>

【別紙】各巻の紹介



『流動する世界秩序とグローバルガバナンス』神保謙・廣瀬陽子 編

A5判・上製・256頁

世界政治の新たな仕組みとルールの形成を模索する。

現代世界の紛争や協調はどのような原因やメカニズムで生じているのか。いかなる世界・地域・国家の統治の仕組み（ガバナンス）が模索されているのか。さまざまな地域の実例にフォーカスしつつ、政策の実践と理論・分析枠組みを相互作用させて検証する。

『言語文化とコミュニケーション』宮代康文・山本薫 編 A5判・上製・276頁

言語から政策へ、政策から言語へ——。

言語そのもの、言語活動に関わる政策・教育、政策に関わる言語活動という3つの柱を中心に、総合政策学の観点から、言語文化とコミュニケーションをめぐる先端的なトピックを第一線の研究者が多彩に論じる。



『社会イノベーションの方法と実践』琴坂将広・宮垣元 編 A5判・上製・280頁

社会課題を解決する革新的な方法はどう生み出され、展開するのか。

社会イノベーションとは、現代社会の課題の解決を志向するうえで、既存の関係や構造を組み替え、異なる主体やアイデアの協働や融合によって革新をもたらす営みである。その具体的なプロセスをつぶさに検証し、総合政策学の現在地を発信する。

『公共政策と変わる法制度』新保史生・和田龍磨 編 A5判・上製・298頁

変革期の社会に対応する政策立案と社会・法制度のあり方を考える。

これからの公共政策の考え方、分析と評価、方向性について概観し、技術革新や社会変容に伴い生じる新たな政策課題と指針を提示して政策立案と法制度の整備のあり方を考える。



『総合政策学の方法論的展開』桑原武夫・清水唯一朗 編 A5判・上製・256頁

方法論のこれまでの「転回」とこれからの「展開」をとらえる。

総合政策学にはどのような方法があるのか。新しい分野を切り拓きつつ、さまざまな立場の研究手法が併存するなかで、総合政策学の革新と創造は「いかにリアリティに迫れるのか」という一点に向かっている。第一線で活躍する執筆陣が、方法論をめぐる壮大な旅へといざなう。